

第112回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

- 日時** 平成27年3月11日（水） 午後1時30分～午後2時45分
- 場所** 清水マリントーナメント3階会議室
- 出席委員** 角替弘志委員長、望月紀久朗副委員長、河村節子委員、飯田一晴委員、横田圭一郎委員
- 欠席委員** 杉山伸明委員、渡辺一弘委員（及川剛史様 代理出席）
- 進行**
1. 開 会
 2. 静岡市緊急情報防災ラジオ 概要説明
 3. 審議番組 概要説明 審議番組聴取 20分
 4. 審 議
 5. 放送予定、次回審議会予定、その他
 6. 閉 会
- 審議番組** 静岡市緊急情報防災ラジオ 関連放送
- Tr.1 H26.10.05（日）17時18分 波浪警報（自動）
 - Tr.2 H26.10.05（日）21時19分 大雨・洪水・暴風警報（自動）
 - Tr.3 H26.10.06（月）06時12分 土砂災害警戒情報（自動）
 - Tr.4 H26.10.13（月）11時47分 避難準備喚起（手動）
 - Tr.5 H27.03.08（日）10時00分 津波避難訓練放送
- 番組概要**
- 「静岡市緊急情報防災ラジオ」は平成26年10月1日より運用開始しました。専用ラジオが常にエフエムしみず（葵区・駿河区ではエフエムHi）の電波を受信していて、起動信号を受信すると自動的に最大音量で緊急情報を放送する仕組みになっています。
- これまでに、J-ALERT（全国瞬時警報システム）と連動した自動放送を7回、静岡市防災対策課から要請を受けた避難関連情報の手動放送を3回、計10回放送しました。

番組審議内容

角替委員長

審議挨拶、各委員からの意見を伺います。

河村委員

津波避難訓練の時に流れたサイレンのような音は耳障りだが、何とかならないか？

(会社側より)

自動放送の音声は事前にプリセットされたもので変更はできません。

また津波警報に関しては、他の警報と区別するためコメント前にサイレンを鳴らし、直ちに避難行動に移れるようにしています。

飯田委員

音声ファイルのコメントに「静岡市南部」とあるが、どのエリアが該当するのか分からない。

(会社より)

「静岡市南部」とは気象庁が天気予報等で用いる発表区域において、静岡市内のうち葵区の一部を除くエリアを指しています。清水区においては小河内や宍原地区を含めて全て「静岡市南部」に該当します。

そういったことなども知らないことがある。広報活動に努めてほしい。また昼間は良いが深夜・早朝に自動放送が流れた場合のフォローはどうするのか。

(会社より)

台風のように進路や最接近時間帯が予測される場合は予め人員を配備している。しかし、突発的に起きた波浪警報への対応は難しい。

現在は静岡市が災害対策本部を立ち上げ準備に入った段階で市役所職員から放送準備の要請が入るようになっている。

気象警報が発表されても静岡市で災害対策本部を立ち上げないケースもあり、その場合はフォローしていない。

望月委員

夜間の人員配置などは経費の問題もあり難しいと思うが、市民のラジオとして可能な範囲で対応してもらいたい。

横田委員

スタジオが不在となる時間帯は？

(会社より)

平日は夜8時から翌朝6時まで、土曜日は朝の8時まで、日曜日は朝の9時まで不在となります。

角替委員長

同報無線と同じ放送なのか？

(会社より)

コメントは同報無線から流れる放送と同じだが、同報無線の方が声の拡散を配慮しているので読むスピードが遅くなっています。自動放送のコメントは合成音声のため、無機質な声になっていることは同じです。

同報無線は室内にいと放送していることは分かるが、何を放送しているのか分からないことが多い。こういった内容をラジオで聞けるのは頼もしい。

(及川剛史氏：静岡市広報課として)

緊急情報防災ラジオは、緊急情報伝達の「速さ」を優先しています。

また「最大音量で放送される」ことが特徴で、かなり大きな音で緊急情報が放送されるので、ラジオが起動したら気象警報などが起きていると認識していただけたらと思います。

次回は、平成27年5月20日(水) 13:30 開催予定

以上